

いなきたコミュニティセンター

除排雪

Q. 色内小学校のところは、除排雪について幹線道路は頻繁にはやるのですが、中に入ると市の道路でないからやらないとか多い。市の方で排雪してほしい。

色内小学校のすぐ上の道路について、前には1回くらい(除雪に)入っていたが、最近はほとんど入っていない。市の方に言って入ってもらうこともあるが、あそこは広いところですから、1回か二回くらい入るべきではないか。

4, 5年前に4月に、道路がぐちゃぐちゃでタクシーが自分の所を上げられなかった時があって、すぐ市に電話して対応してもらったが、町内の人に言われたら市に伝えて、自分のできることはやるのだが、なるべく声を聞いて、現場を見て対応してほしい。

A. 色内小学校のすぐ上の道路について、第3種なのか確認しなくてはならないが、市では第3種路線については、基本は、圧雪管理で除排雪を全部やるというふうにはなっていません。2年前から第3種路線も試行的に行っているところです。一昨年が60箇所、昨年は163路線決めて試行的に行ったが、今年は161路線にして、第3種路線の除雪出動を行う予定でいるので、その状況を見ながら議論がすすむと思います。今の場所については、どういう路線なのかもこちらで確認して、回答していきたい。

タクシーが上れなくてぐちゃぐちゃと言うこと。市民の方から救急車出動のときも、そのような状況がある道路が多く見られています。これら、市長は限られた予算の中で市民の声に答えていきたいということなので、路線がどこだったのかも確認して、対応が可能かどうかも伝えていきたい。

Q. フードセンターの駐車場の入口をまっすぐあがって塩谷街道にぶつかるところに住んでいます。そこは車のおりが多いところ。滑るので、去年あたりは、除雪してくれるのですが、歩道の上に雪を置いていく。角がアパートになっているので横断歩道を渡ることができず、斜め横断の形でアパートの階段にたどりつく、危ないので自分でやっているのだが、除雪後の雪は、重くて大変。以前は、寄せていくだけだったのに、車道の雪を歩道に寄せていくので困る。色内小学校が廃校となり、通学路でなくなったからなのか。疑問がある。除雪時に歩道に寄せていった方がいいのですか。

A. 担当課にも確認させていただくが、歩道に雪を寄せていった方がいいのかと言うことですが、危険な状況だということには分かることなのですが、例えば道路が狭く、やむを

得ずという箇所もあるかもしれない。塩谷街道は車の通りが多いということもあるので、突き当たりで、車が左右確認できないということでは問題だと思うので、担当課の方に確認して、今年はそのような状況がないように配慮を伝えたい。

Q. 雪の問題は、予算がかかり、市民は文句言わない。市の方では、幹線道路で排雪するが、いちいちとっていかないから、そこにいる人が雪をどけている。おき雪も必要だし、「やむを得ず雪をおくのでお願いします。」と市民の方にもお願いしますという市の方針を、チラシにして一軒一軒に配るようなことを、町内会を通して行っても良いと思う。前に市の何かに載っているということを書いて配らないということがあったが、毎年のことだけど、注意事項については、やっぱり配った方がいい。

A. 「予算がかかっても」、という市民からの意見はたくさんある。高齢化が進んでいるから除雪だけは何とかしてほしいという意見だと思うのですが、限られた予算の中で除雪に関して15億くらいかかっており、さらにそれを億単位で増やすとなれば、どこかを削らなければならない。削るところをどうすればいいのか、と行政の事業の見直しなど、今後、深めていかなければなりません。

市民との協働のなかで、除排雪をどうやって整えていくかという議論は、市民の力を借りなければ、立ちゆかなくなると思うので、委員会等で議論していく形でしていきたい。チラシのことについては、今までと同じでいいのか、話し合いをしていかなければならないと思います。

Q. 富岡北部会館の前、排雪がされなくて、道幅が狭く、車一台通る幅になってしまっているんで、小学生も通るので、二回ほど排雪をお願いしますと電話したのだが、排雪される前に暖かくなったので、排雪されないで終わってしまった。議員から提案された冬の暮らしにかかる条例案でいろんな部署を入れたらということがあったが、通れば通学路もよくなるのでないかと期待したが、否決されてしまった。通学路を確保するという点で、除排雪はどのようになるのか。

A. 条例案の方については、今後の新市長のもとでの除排雪体制を確認して考えていくということになった。教育委員会の方では、保護者を含めて、マップをつくって、「除雪をキッチリしてもらおう」としたが、学校だけで共有されていて、対策本部まで伝わっていなかったことがあるので、ガイドラインが作られて、いろんな人たちが入って、確認事項を建設部に伝える仕組みができつつあるので、変わっていかないとはいけません。北部会館前が排雪路線になっているかどうかを確認しなくてはならないが、確認して伝えたい。

Q. 視覚障害者福祉協会の役員であるが。われわれは、見えないのに山になっていたら、どうにもならない。滑るし、まっすぐでない。見えないのに滑ったらどうにもならない

い。リスクがある人がいるのであれば、少しましにやってほしい。バスを乗ると言うことは、歩道を歩いて行くのだけど、雪で歩道がないのだが、どこに言えば良いのか。そういうところがいっぱいあるので、善処してほしい。

- A. バス停までの除排雪について、市内全域の課題と思っています。ステーションごとで一斉にそれを確保するとなると、時間とか予算とかのこともあるので、地域で何かできないのかという議論もあるかと思うので、地域の方で協力してくれる方もいると思うので、市民のみなさんと地域ごとの課題を解決しながら、どうすれば解決できるのか、話し合いをしていかなければならないと感じています。今後も、意見を寄せていただきたい。

防災について

Q. 防災ということで、稲穂の避難場所は、色内小学校だったが、コミュニティセンターということになっている。地震の時に、トイレも水もダメだった。それで、足の悪い私には5階まで上がったとしても、水も使えないのであれば、という不安があるのだが、どうなっているのか。これ以上の災害があった場合に、避難所に来たとしても5階まで上がらないといけない。暖房があるのか、食料はどうか、調理できるのか、毛布などは確保されているのか。心配がある。この辺なら、どこに避難場所があるのかを確かめたい。

- A. 避難所については、この近くでは、稲穂小学校か、手宮中央小学校。津波とか地震とか災害によって、異なってくるが、ハザードマップもつくっています。場所とか、広報活動の部分でしっかりお伝えできるように、情報伝達できるような体制を整えると言うことを新市長も答弁しているので、その点についてご理解いただいて、避難所の場所については、議会に持ち帰って議論していきたい

Q. 10月10日に町内で、市の防災の担当職員から話を聞き、勉強になった。今後は、普段から計画的にやった方がいいと思う。

市の方からも町会に働きかけをしても良いのではないかと。

- A. 防災は、減災、備えをして、自分のことは自分で助け、だめなら地域でたすけ共助、それでだめなら公助と日頃から勉強していただくことが、減災につながります。担当にも伝え、積極的に使っていただくようにと思います。

他の町会もやっているのだが、町会内で完結しているので、他の町会には知られていないと思うので、議会で伝えていきたい。

Q. 色内小学校から避難所がいなくなったコミュニティセンターに変更になったが、避難所

に指定されるということは、何かしらの設備、毛布、カンパンなどそういうことを備えて避難所というのか、耐震性で避難所と指定されるのか、教えていただきたい。

ここの建物は大丈夫なのか。

- A. 備蓄のことについては、クラッカー、アルファ米、毛布などは、各避難所に整え、使ってしまった分については、補充しています。

ここの建物は耐震基準を満たしています。

- Q. 福祉避難所はどういうものなのか教えてほしい。

耐震装置が頑丈だとかあるのだが、産業会館はどうなのか、

胆振東部地震で視力障害者がいるとは聞いていなかったが、視力障害者について聞きたい。小樽には、400人くらいの視力障害者がいるが、一級は125人いる。もし、仮に小樽で地震が起きた場合どうなるか。自助、共助、公助は分かる。地震になったら、自分の命は自分で守らなければならないということは当たり前ののだが、そのあとのことを聞きたい。

別府市の災害の条例が進んでいると言われている。一級だからケアマネさんが来て、ケアマネさんが町内とコーディネート、パイプ役をしてもらえ、ケアマネさんと町内会がコーディネートすることで、忘れないで声かけてもらえる環境をつくることできる。

視力障害者がケアマネさんとか民生委員に把握してもらっていけば、置き去りにされない。別府の災害の条例はすばらしいので、ネットで調べてみてください。

- A. 福祉避難所については、一時的な避難所があります。各小学校だとか、そこが第一の避難所になる。そこで、高齢者の方とか障害のある方とか長期化することで具合が悪くなることがあります。そういうときに、福祉避難所が開設され、最初から福祉避難所に行くわけではありません。例えば、特養ホームはる、やすらぎ荘、四つ葉学園、宏栄社、和光学園、朝里ファミリア、特養ホーム朝里温泉、松泉学園が福祉避難所になっています。すぐいけるわけでないということが課題だが、現状はそうになっています。

障害のある方が安心して避難できるかどうかということは、大事な問題。

支援者を早く決めなければならない。950の方がいるが、半分ちょっとは、まだ決まっていないのが現状。「連携をとって早く進めてほしい」と質問したが、市長は気になっていることなので、早めに取り組むようにすると答弁をいただいています。進んでいないのが現状なので、何が進まない原因なのか市の方に聞きたいと思います。みんなで考えていくという立場で望んでいきたい。

産業会館は耐震基準を満たしています。

Q. 視力の人と聾啞の人が意思疎通できないということをNHKで放送していたので、検討していただければ。床に寝られない人もいますので、そういうことも検討していただきたい。

A. 障害者差別解消法が施行されている。市でも今年、障害のある人の情報取得・コミュニケーション促進条例が制定されています。この点からしても、障害のある方が意思疎通できるよう配慮していかなければなりません。市の施策では、手話通訳者や点字、要点筆記の方をいろいろな場で設けるという方針をだしているのです、いかに具体化していくのが大事な問題なので、議会で取り上げていきたい。

Q. 色内小学校について、道営住宅を建てると言っていた。なんぼ経っても建たない。市に聞いたら、小樽市は後回しと北海道から言われていると言う。それならば、町内の人にそのことを言ってくれないと、できないならできないと言うべき。

色内小学校は避難所だった。なくすべきでなかったなと思った。慎重に考えるべきだった。町内会で子どもいなくなったから、お祭りできない。子ども御輿もできなくなった。

色内小学校は壊さないで、体育館は耐震にもなっているし、改修して、色内小学校の体育館も残して、老人ホームにしてはどうか。

A. 色内小学校の跡地については、ご指摘のとおりなので、担当の方に伝えて、説明会をするのかどうか、いただいたご意見を伝えていきたい。

色内小学校を老人ホームにということですが、できる、できないとは、ここでは言えないが、跡地の利用は老人ホームがいいという意見があったということで、議論を活かしていきたい。

市の方針として道営住宅を受け入れるという方針が変わっていなければ、結論がでるまで行くと思う。方針転換がでて、跡地利用を考えることになってから、どちらの方向に向くかということになります。

そうってから、町内のみなさんにご意見を聞いて、議論していくことになるので、時間がかかると思います。

Q. 町内会の活動について、高齢化で活動が難しくなっているところと、世代交代されながらがんばっているところがあると思います。防災のことからいっても、なくすわけにはいかないと思いますが、町内会の活動について、市の援助はあるのでしょうか。

A. 町内会活動は、小樽の高齢化になっていて、重要な課題になっている。他市に比べると小樽市の町内会の加入率は高いです。

なかなか、市の補助は難しいが、できるだけその地域に住んでいる職員が関わられるような体制ができればいいと進めていました。義務ではないが、協力している市の職員はいる。災害になれば、市職員が避難所にまっすぐ行くので、そういう点からも、

市職員との連携をどういう風にやっていくかは課題です。

町会の若い方が参加できない問題は、全国共通。町会で子どもさんを通した若い方のグループをつくっている所もあります。入口をわかりやすく、広げてやっている所もあるので、調査しながら議論していきたい。

Q. 毎回語る会に来て、いろいろなことを言われることは大変だと思いますが、8月に市長が代わって、3年7ヵ月ぶりに、期日内に終わると新聞報道があった。

新市長が所信表明の時に「市民との対話を大事にする」対話協調路線を表明している。トーク会は、アクションかけて、人が集まって行政の声を聞ける良い機会になるのではないかな。議員の方からだけでなく、直接、来てもらう機会を作ってもらえばいいのではないかな。

除排雪については、きちんとチェックして、ここおかしいとか、雪対策本部に届けられないといけない、声を出していかなければならないのではないかな。

防災については、改善すべきところは、上がってきているので、たまたま、9月6日に地震があったから、いま話題になっているが、もう少し見守っていく必要があるのではないかな。

3年7ヵ月は負の遺産を背負っているんで、それをもとに戻すことは当たり前のことで、行政と市民の間に矛盾が生じないように戻すことは時間がかかると思うので、市職員もしっかりしてもらいたいけど、議員も市長とみんなできいまちづくりをしていく姿勢が大事ではないかな。

A. 議会について、予定通り終わった。一番大きな違いは、市長も含めてきちんと答弁されていることで止まらないし、混乱もしていない。正常に戻りました。

前の市長も考えがあったのだろうが、議会と市民と経済界と一緒にみんなでき小樽を進めようという考え方がないと難しい。いい意味で勉強になりました。

残された期間、来年の4月選挙があるので、12月、3月議会があるので、少しでも前に進める議論ができるようにしていきたい。

○ご意見

竜宮神社下がるとレディースクリニックや障害福祉センターがあるが、越後屋家具の十字街に雪が団子に山になっていることがあって、見えない。車が来てないかと言うことが、確かめられないので、ここは極力除排雪をお願いしたい。

望洋台ふれあいセンター

除排雪について

Q. 道路の第2種、第3種も含めて除雪の出動基準が10cmから15cmになるのか。またバス道路のガタガタ路面の対応はどうなるのか。

A. はい、15cmになったら除雪が入るということです。バス路線など道路についても路面整正はすると聞いています。

Q. 除雪パトロールは強化して行うのか。

A. 今までもパトロールをしています。排雪しているところもしっかりみてパトロールを行って対応すると聞いています。

Q. 同じ路線でも除雪が入っているところと入っていないところがあるがなぜ。

A. この地域は第3ステーションという除排雪を行う地域ですが、このステーションが一番除雪など低い地域でありました。

この3年間は、積めるだけ積んで排雪入るという状況でした。今後の排雪は一点をみて排雪するような状況から面をみて対応したいと聞いているので、ここ3年間のようにはならないとは考えています。

Q. 11月に除雪対策本部を立ち上げることや10cmから15cmに除雪基準の見直しはもう決定事項なのか。

A. 決定事項です。

Q. 第3種路線でも住民にとっては生活道路であり、除雪しなければ救急車なども入らなくなってしまう。ゴミステーションや郵便局もあるので、せめて1年に1回は第3種路線でも除排雪が入るように見直しをして欲しい。近隣住民で、お金を負担しながら貸出ダンプなども利用しているが、かき分け除雪もないし、個人でお金を出して生活道路を確保している状況で大変。第3種路線についても除排雪の見直しは考えていただけないのか。

A. おっしゃることはわかりますが、現在の段階では第3種路線は除排雪していないところもあります。もしかしたら、貸出ダンプをしているかた大丈夫だろうという市の考えもあるのかもしれません。かき分け除雪もされていないということなので、それについては市にもお伝え、また、除雪路線の在り方についてもお伝えしておきたいと思います。

Q. 望洋小学校前の通りと小学校よりの歩道と2つの道路があるが、冬は1つの道路が

封鎖されてしまい、小学校側の通りは冬になると狭くなる。歩行者も多いので、冬も通れるように除雪をして欲しい。

A. 状況を確認させていただいて、また改めて応えさせていただきたいと思います。

災害について

Q. 9月6日の停電時は寒くない時期だったが、夏と冬の避難所の備蓄はどうなっているのか。夏と冬の対策もまた、高齢者に対して、女性に対しての特別な配慮も必要だと思うがその辺はどうなっているのか。

もし、具体的な対策がされていないのであれば段ボールや毛布の確保なども必要ではないか。

A. 備蓄品としては、電池や食品はアルファ米やカンパンなども備蓄されていると聞いています。毛布などもあります。女性に対しての配慮や高齢者などに対してなどは、非常に大事だと思っています。あらゆる災害に対して対応するには、避難所として開設もそうですが、その他の津波、今回のような停電対策など様々な対応を考えなければいけないと思うので、そのことについても市に伝えていきたいと思っています。

Q. 各地でハザードマップは配布されているのか。

A. はい、各町会を通じて配布されています。もし、希望がある方がいましたら、市からももらうことも可能です。

Q. 市立病院には自家発電はあると聞いているが、他の施設などでも自家発電施設はあるのか。広報車が回ったというが全然情報がわからなかった。すぐ近所で電気がついているのに情報が入らない状況で、電話が使えるところをお知らせするなど情報をしっかり市民に伝えて欲しい。

A. 自家発電がもっているところと言えば、市役所、消防や水道局はあります。病院についても自家発電がないところも多くあり、病院も大変な状況がありました。市民に情報が伝わっていない状況については、各党派からもいろいろと議会で質問がありました。

今後については、停電時についても地域防災計画の中に入れることや、市民へどのように情報発信していくのかについても今後しっかり検討していくと市から聞いております。

その他

Q. 近所の道路もそうだが、道路に亀裂が入っている場所や段差がある部分もある。市に対しても何かあればその都度伝えていますが、危ないので道路の修繕をしっかりと欲しい

A. 以前は、春から雪が降る前には建設事業課が担当し、冬は除雪対策本部で管理することになっており、2つの担当に分かれていました。しかし、新市長は、春夏秋冬もしっかり、道路の維持管理ができるように業務が一括してする機構改革をしました。今後は、1年通して道路の維持管理についてもできるようになると思います。

Q. 夏と冬で道路の維持管理する業者は違うのか。

A. 夏と冬では違う場合もあります。

Q. 家の水道管に穴が開いて、先日業者をお願いして直して貰いました。その時に業者がなぜか望洋台地域で水道管の穴が開いている件数が多いという話を聞いた。話を聞いて、なぜなのか。とも思ったが、水の安全性については大丈夫なのか。

A. 水の安全性については、問題ないです。穴が開いている件数が多いことは、専門家ではないので調べてみないとわかりませんが、そういうことがあったことなどは水道局にも伝えさせていただきます。

Q. 6ヶ月前にNHKテレビで小樽の特集で、中国人に市内の古い空き家物件が買われているという放送を見たが、望洋台も買われているみたいだ。今、どれくらい買われているのか。市は把握しているのか。

A. 空き家は、市では空き家対策が担当しています。危険な空き家だから何とかして欲しい、活用できる空き家だからもっとアピールして活用できないか、所有者と連絡がつかない、家を管理する方がいないということについて、空き家対策を行っています。今話があった、海外の方が利用されている場合はどういう状況で利用されているのか。どういう人なのか。もっと心配されているのが何かあった時に手も足も出ないということをお心配されていることだと思う。市民からも、海外の方が出入りして近所の方が怖いという状況も市民から聞いているので、市もそういう市民の声があるという状況もわかっているから協議はしています。しかし、プライベートな部分もあるので、近隣住民の方の情報から何か情報があれば、お知らせをしていただきたいと思います。

Q. 一時は、中央バスとの関係が悪いということがあったみたいですが、現在の新しい市長になって今はどうなっているのか。また、他市に比べて、小樽市は路線バスが多く走っているので、これだけの路線を維持するには経営的に大変な部分もあると思う

ので、3本走っている路線を1本で回れるような工夫をすれば、ドライバー不足やバスを確保しなくても良くなり、中央バスの経営的にも住民にとって良いのではないかと。

A. 新市長になって、中央バスの社長にもすぐに会いに行き話もされており、良好な関係にはなっていると思うので、今後は協力していただければと思います。

市内の路線、交通アクセスについては、今現在、交通網計画とうものを考えています。自治体を中心となってどうやって市民の足を確保するのかを中央バスやタクシー、JRなども入って議論する計画が今動きだしているところです。みなさんの声も届くようにもしたいと思うので、みなさんからも何かあればお願いします。

Q. 避難訓練は、夏やっているみたいだけれど警察や消防など関係者と一緒に冬の避難訓練をする必要があるのではないかと。

A. 市としては冬の訓練していないので、関係機関と一緒にいった訓練をできるように伝えておきたいとします。

Q. 望洋3丁目のローソンの通りは、冬は迂回しなければ通れなくなるがそれなりに交通量があるところなので、これまでも、町内会や小学校、中学校のPTAとも一緒に要望を警察に出しているが、議会としても信号機を設置できるように応援をして欲しい。

A. 議会としても、関係機関に要望を出して応援したいとします。みなさんの方からも、引き続き要望お願いしたいとします。

Q. 市民会館と総合体育館でイベントなどが行われる時は、多くの方が車で来るので車が駐車できなくて大変困る。周辺は駐車禁止のために、短時間でも止めると警察が来るので、駐車できないから別の場所でイベントをするということにもなりかねない。

A. 確かに、同じような要望は他の方からも出されている。駐車場に関しては、何かできないかはこれまで話はしているが、駐車場付近に住んでいる住民との関わりもあるので難しいところがあります。他の場所も駐車場として検討できないかなども聞きながら解決に向けて取り組んでいきたいとします。

Q. 交通網はまちにとって重要だと思えます。高速道路や今後は新幹線が開通されることになっているが、高速道路は小樽を寄らないことにもなるのではないかと。新幹線も新駅は天神だと聞いているので、寂しい街にならないように交通アクセスをよくして小樽の活性化に繋がるようにして欲しい。

A. 交通網については、動脈ですので大事な問題と思えます。しかし、全てこれから残していくというのもこれからは難しいと思う。どうやって主要なところを残すのか。なども含めていろいろなところで、みなさんからも意見や声を出していただきながら、

よりよいまちにつくっていきたいと思いますので、よろしく申し上げます。